

# 「おおたかの森」見学会の報告

武蔵野の森を育てる会

境山野緑地（独歩の森）は、江戸時代から続く武蔵野の雑木林の一角。雑木林は人々の生活を支え、以前では市内のいたるところに雑木林が広がっていましたが、都市化の中で、今では、独歩の森が市内に残る唯一の存在となってしまいました。

歴史的・文化的・自然的な意義のある独歩の森を、後世までよりよい状態で残していくことが、今を生きる私たちの役割です。武蔵野の森を育てる会は、このような考え方のもとに、武蔵野市との協働にもとづき、境山野緑地の保全活動を行っています。

私たちは平成 23 年 5 月 7 日、武蔵野台地の雑木林である「おおたかの森」の見学会を実施しました。「おおたかの森」とは、埼玉県南部（所沢市・狭山市など）に広がる約 500ha（境山野緑地の 500 倍）の森です。ここにも開発の波が押しよせているため、地元では市民活動団体「おおたかの森トラスト」（代表：足立圭子さん）が中心となり、さまざまな工夫をして森を保全しています。



下草が豊かで、生き物の種類が多い「おおたかの森」



林床（林の地表部分）が裸地化し、雨で水たまりができた「独歩の森」

武蔵野市の緑地や自然の保全を考えるうえで得るところが多い見学会となることを期待して、当日は会員のほかにも市民の方や大学生など総勢 27 名が参加しました。

**裏面の感想文をご覧ください！**

武蔵野市民にとって貴重な財産である雑木林「境山野緑地（独歩の森）」も、多くの市民の力で後の世代までよりよい状態で引き継いでいきたいものです。あなたも定例活動に参加してみませんか？

武蔵野の森を育てる会では、境山野緑地を自然ゆたかな雑木林に育てるため、草刈りや笹刈、ゴミ拾い、樹木の世話、堆肥づくりなどを行っています。月 2 回の定例活動には、10 代から 80 代までいろいろな方が参加し、みんなで楽しく作業をしています。境山野緑地は J R 武蔵境駅から北に徒歩 10 分。具体的な活動日と場所は、当会 H P (<http://mnomori.web.fc2.com/>) まで。

# 参加者の感想より

どこまでも続くと思われる雑木林、遠くから見ると山のように見える雑木林を見るのは初めての経験でした。そこに住む生物達のことを一つ一つていねいに考える足立さん達の思いと行動力に心うたれました。昔からの自然の循環を残していくことが大切だと改めて感じました。独歩の森をよりよく変えていきたいものだと思います。

(市民)

森の新鮮な空気、植物にふれる機会、本当にお礼申し上げます。子供達と一緒に次の世代に緑をたくさん残す事は、ほんとうにすばらしく、皆様の想いに感動しました。おおたかの森のふかふかした道、本当によかったです。

(市民)

武蔵野台地の自然の中に身をひたして、まだ残る豊かな自然のいとなみに感心しました。人は、文明のもとに、わずかな間に、自然に対して大変な影響を与えてしまったことにあらためて気付かされます。身近な生き物も、仲間であり運命共同体なのだなーと、感じました。

(市民)

おおたかの森の広大さに驚きました。タカやキツネ、ウサギなどの住んでいる動物にに応じて森を守っているのだと知りました。「おおたかの森」の林床と「独歩の森」の林床の違いを感じ、いずれ独歩の森もあのようなになれば、たくさんの生き物を見ることのできる森になるのかなと思いました。一日長かったです。とても貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

(学生)

おおたかの森を実際に歩いてみて、森の広大さや下草の豊かさ、フカフカの地面に驚きました。とても清々しい気持ちになれました。また、森には鹿がないから鹿の代わりに笹を刈る、猪がないから猪の代わりに木を倒す、などという話をうかがい、とてもわかりやすく、どうしてそのような作業が必要なのかも納得することができました。多くの子どもたちが参加しているということも、とても良いことと感じました。今日はありがとうございました。

(学生)